

議題①

小名浜港臨港地区分区の変更について

- 平成29年10月19日
- 福島県土木部港湾課



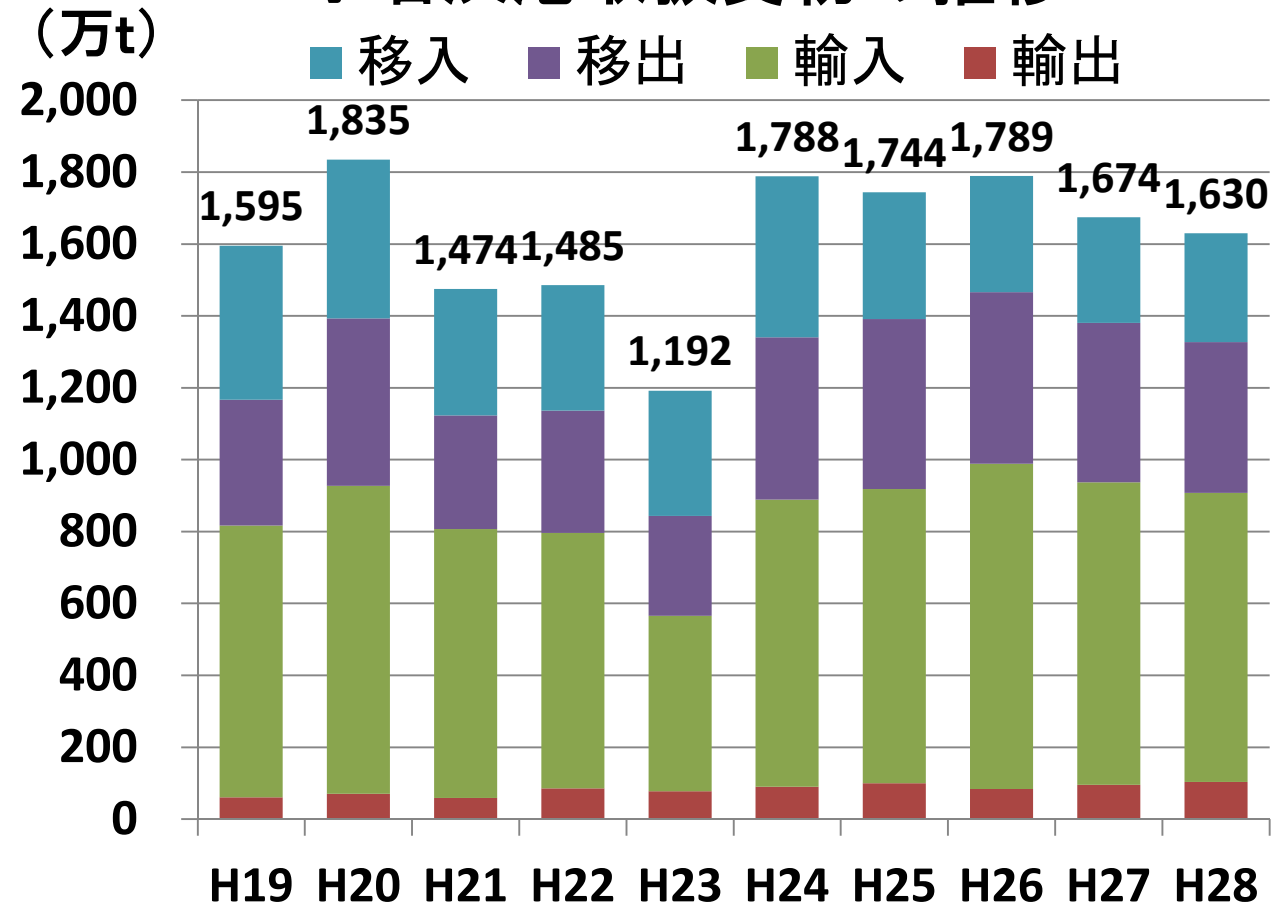
小名浜港周辺の企業等立地状況

- 凡例
- 電力関連企業
 - 原材料製造企業
 - その他主要企業

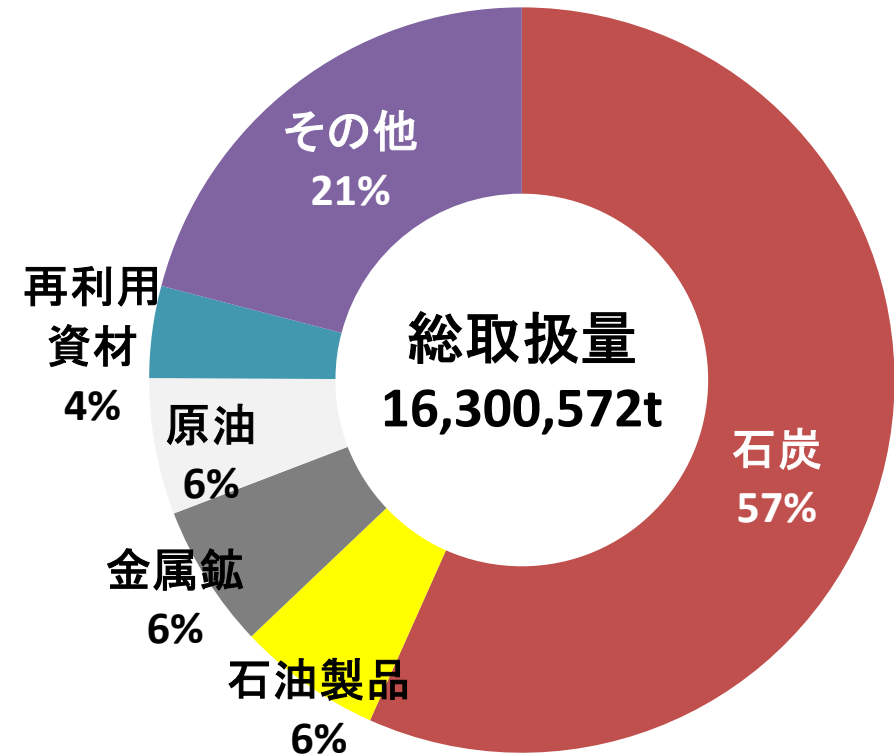


小名浜港取扱貨物量

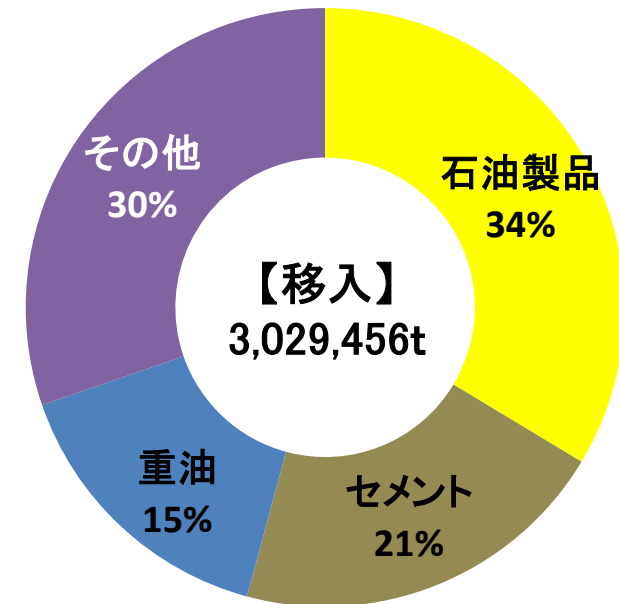
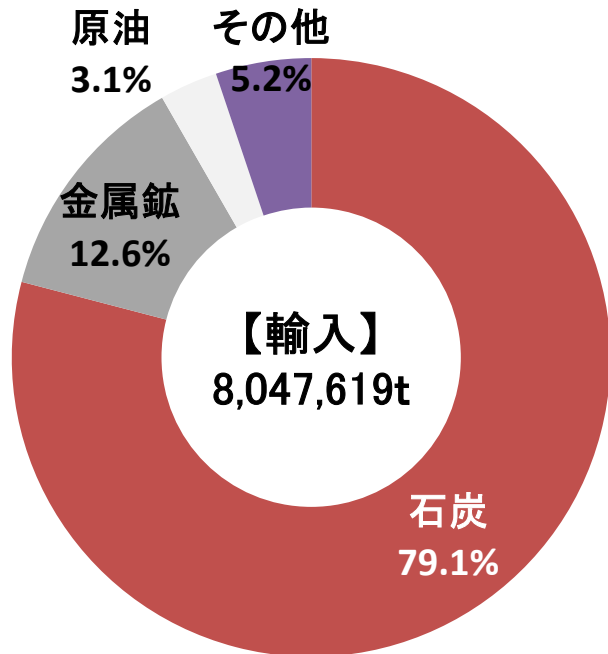
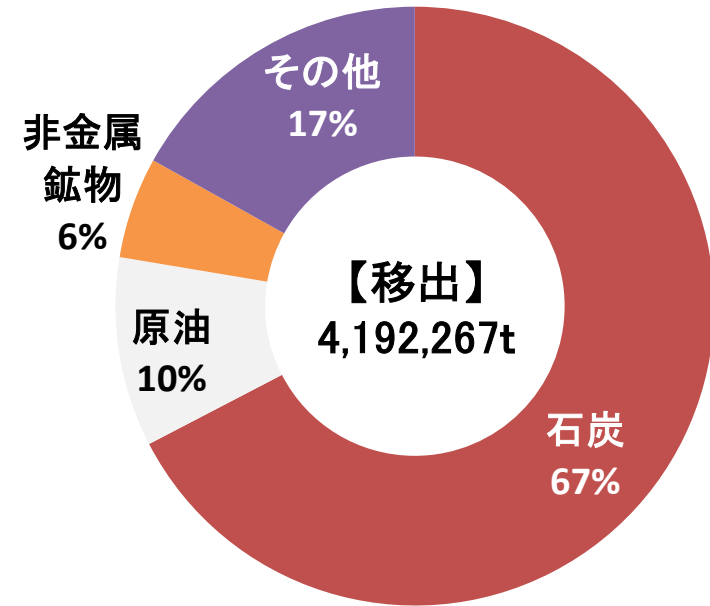
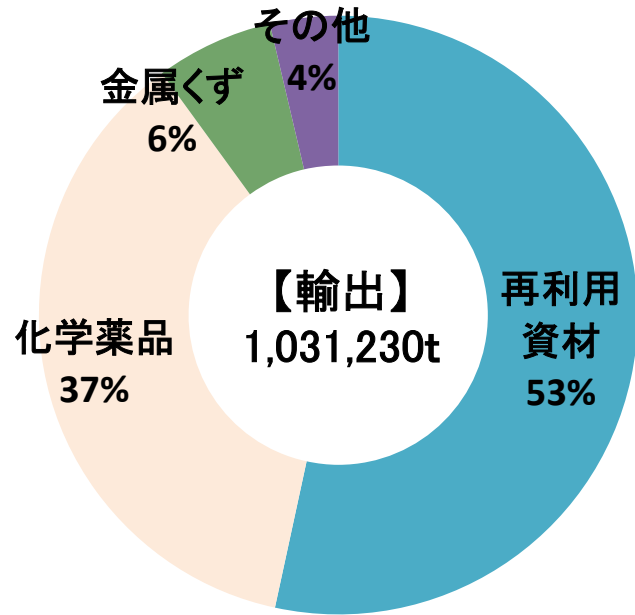
小名浜港取扱貨物の推移



H28取扱貨物の内訳



H28小名浜港取扱貨物量の内訳



臨港地区及び分区について

【臨港地区とは】

水域と一体的に管理運営する必要がある港湾の陸域を、港湾法又は都市計画法（都市計画区域内のみ）に基づいて指定するもの。

【分区とは】

臨港地区内において、目的の異なる建物が無秩序に混在することを防止し、港湾の多様な機能をそれぞれ十分に発揮させるため、臨港地区を機能別に区分するもの。

【分区の種類】

- 漁港区（水産動植物関係の魚舎、魚干場、冷蔵倉庫など）
漁業関係の施設を設置させることを目的とする区域
- 商港区（港湾運送事業等の事務所、荷さばき施設など）
旅客又は一般の貨物を取り扱わせることを目的とする区域
- 保安港区（危険物取扱所、危険物取扱業者事務所、消防施設など）
爆発物その他の危険物を取り扱わせることを目的とする区域
- 工業港区（製造工場、工場に付随する研究施設など）
工場その他工業用施設を設置させることを目的とする区域
- 特殊物資港区（港湾運送事業等の事務所など）
石炭、鉱石その他大量バラ積みを通例とする物資を取り扱わせることを目的とする区域
- マリーナ港区（マリーナ施設など）
スポーツ又はレクリエーションの用に供する施設を設置することを目的とする区域
- 修景厚生港区（港湾その他海事に関する理解増進を図る水族館など）
その景観を整備するとともに港湾関係者の厚生を増進を図ることを目的とする区域

臨港地区分区変更箇所



臨港地区分区の変更①








- 事業者から再生資源燃料(パーム椰子殻)保管用の倉庫建設の要望あり。
- 再生資源燃料は指定可燃物であり、工業港区での取扱ができないため、臨港地区分区を変更。
(工業港区→保安港区)

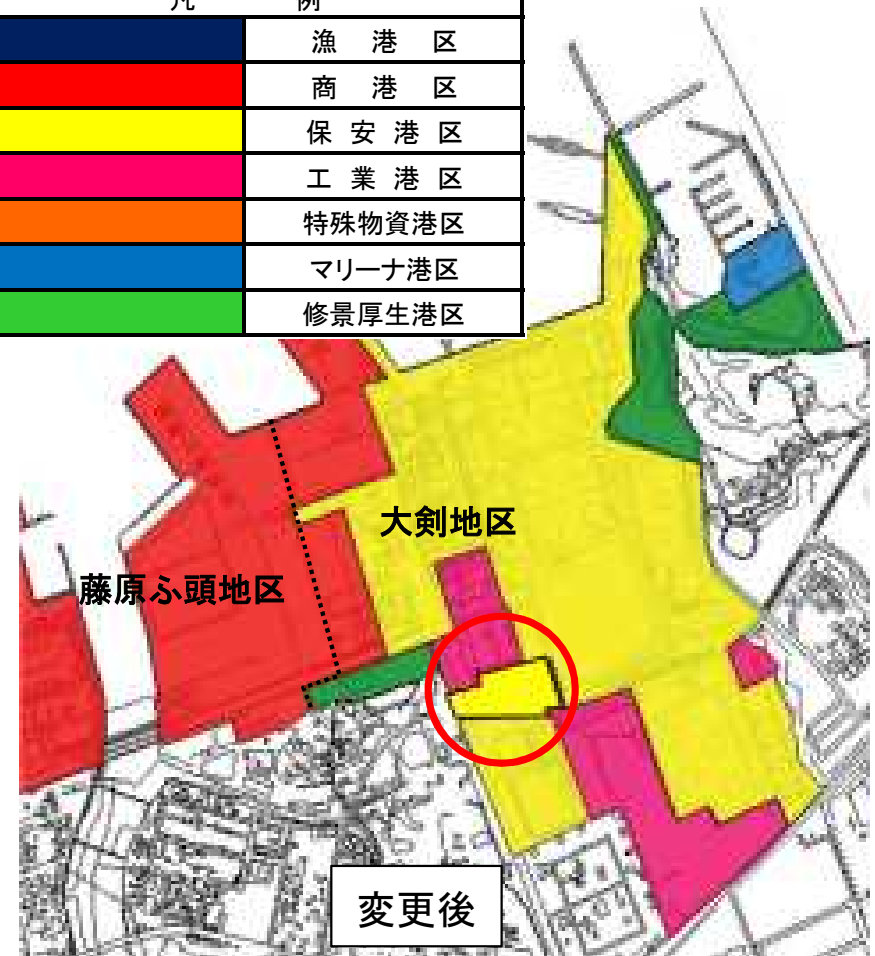
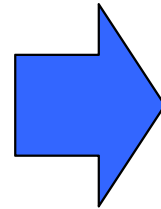
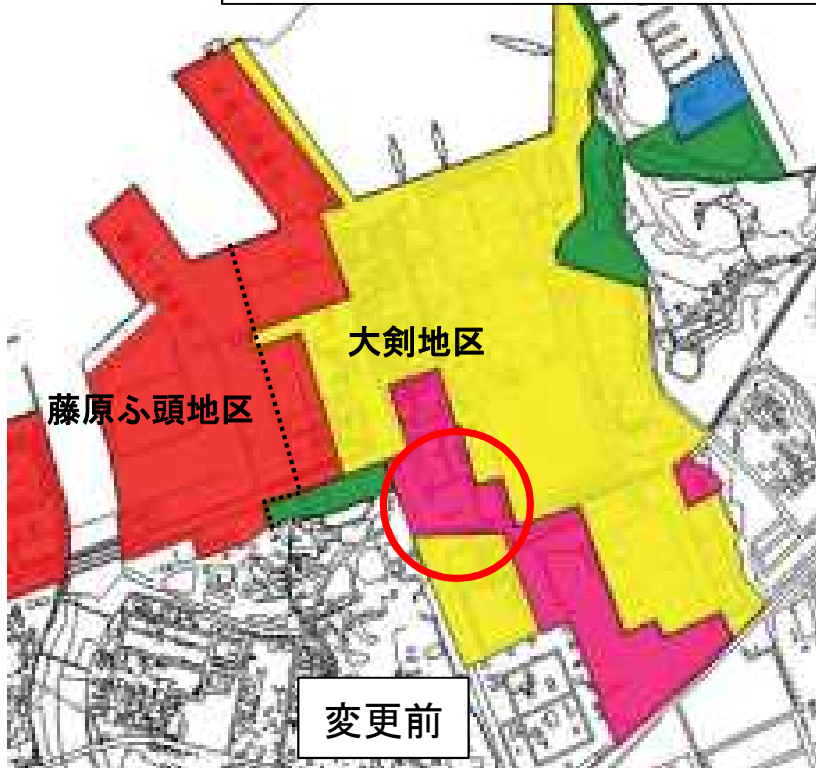
【変更内容】

箇所:大剣地区

変更面積:4.0ha

内容:工業港区→保安港区

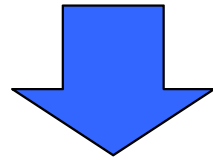
凡	例
	漁 港 区
	商 港 区
	保 安 港 区
	工 業 港 区
	特殊物資港区
	マリーナ港区
	修景厚生港区



臨港地区分区の変更①

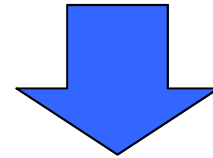
1. 事業者の要望

- 事業者から新たなバイオマス火力発電所建設計画があり、発電に使用する再生資源燃料(パーム椰子殻)を保管するための倉庫建設に伴い、分区変更の要望があった。



2. 現状の問題点

- 再生資源燃料は消防法第9条の4により指定可燃物に指定されている。
- 当該用地は工業港区に指定されており、工場その他工業用施設を設置させることを目的とする区域のため、指定可燃物を取り扱うことができない。



3. 対応

- 分区を爆発物その他の危険物を取り扱わせることを目的とする区域である保安港区に変更することにより、指定可燃物の取り扱いが可能となる。

パーム椰子殻とは

- パーム油を搾油した後、残量果肉を落とした農作物残渣。水分含有量が少なく発熱量が高いことから、近年バイオマスエネルギーとして注目されている。
- 主にインドネシアやマレーシアなどの東南アジアから輸入されている。



パーム椰子殻








臨港地区分区の変更①

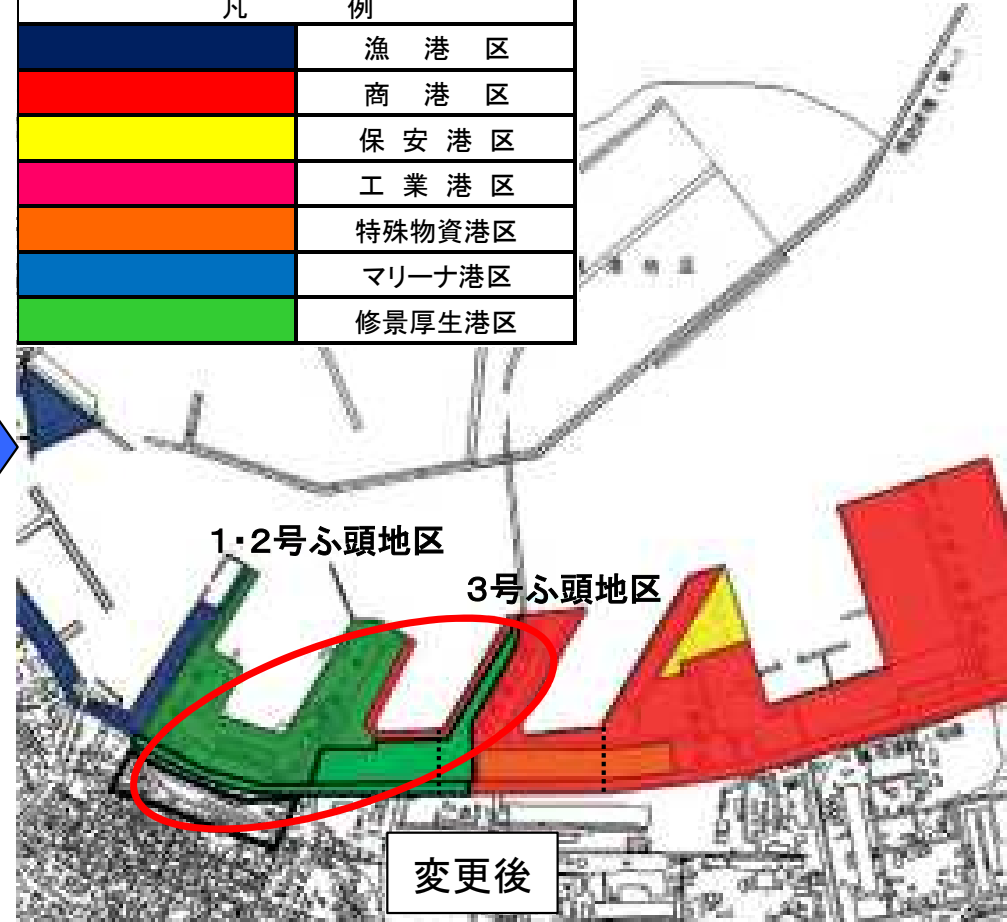
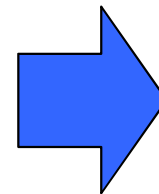


臨港地区分区の変更②

- 緑地整備に伴う分区の見直し。
- アクアマリンパークと一体となった賑わい空間創出のため、臨港地区分区を変更。
(商港区→修景厚生港区)

【変更内容】
 箇所：1・2号ふ頭地区
 3号ふ頭地区
 変更面積：10.2ha
 内容：商港区→修景厚生港区

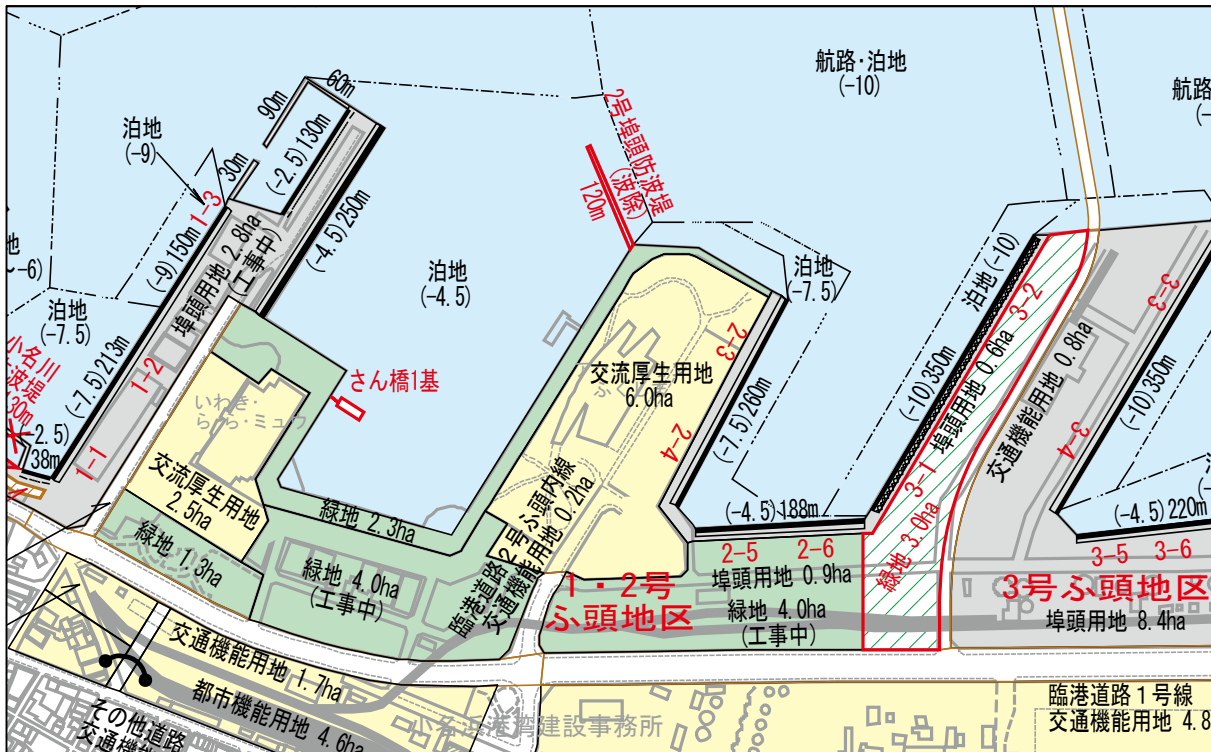
凡	例
	漁 港 区
	商 港 区
	保 安 港 区
	工 業 港 区
	特殊物資港区
	マリーナ港区
	修景厚生港区



臨港地区分区の変更②

- 平成15年の港湾計画改訂で、1・2号ふ頭地区及び3号ふ頭地区の緑地を港湾計画に位置付けている。
- 東港地区の供用開始に合わせ、3号ふ頭地区の緑地整備を進める計画であり、今回、臨港地区分区を変更する。

港湾計画図



緑地計画

地区名	名称	面積	用途
1・2号ふ頭地区	1・2号緑地	11.6ha	シンボル緑地
3号ふ頭地区	3号緑地	3.0ha	シンボル緑地

緑地規模の考え方

1・2号緑地から3号ふ頭にかけて、連続的な賑わいの場として必要な区域を確保する。

緑地配置の考え方

1・2号緑地から3号ふ頭にかけて、連続的な賑わい空間となるように配置する。

臨港地区分区の変更②

緑地整備イメージ



東港と3号ふ頭を結ぶ
小名浜マリブリッジ

ふくしま海洋科学館
アクアマリンふくしま

いゆき・5・5・ミュウ

小名浜さんかく倉庫

今回変更箇所
(緑地整備予定)

緑地 (菜山、駐車場)
臨港道路を整備

大型商業施設が出店予定

臨港地区分区の変更②



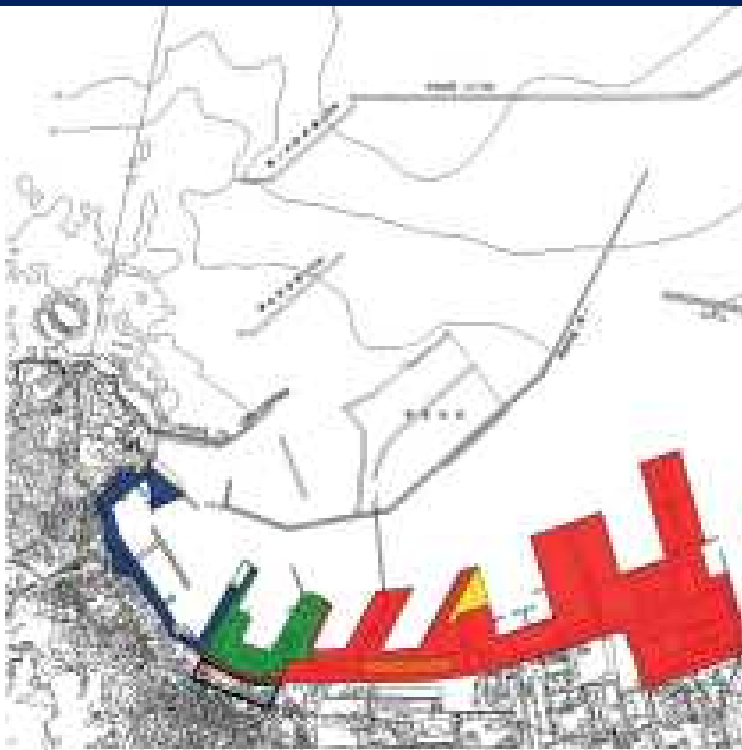
現地①



現地②

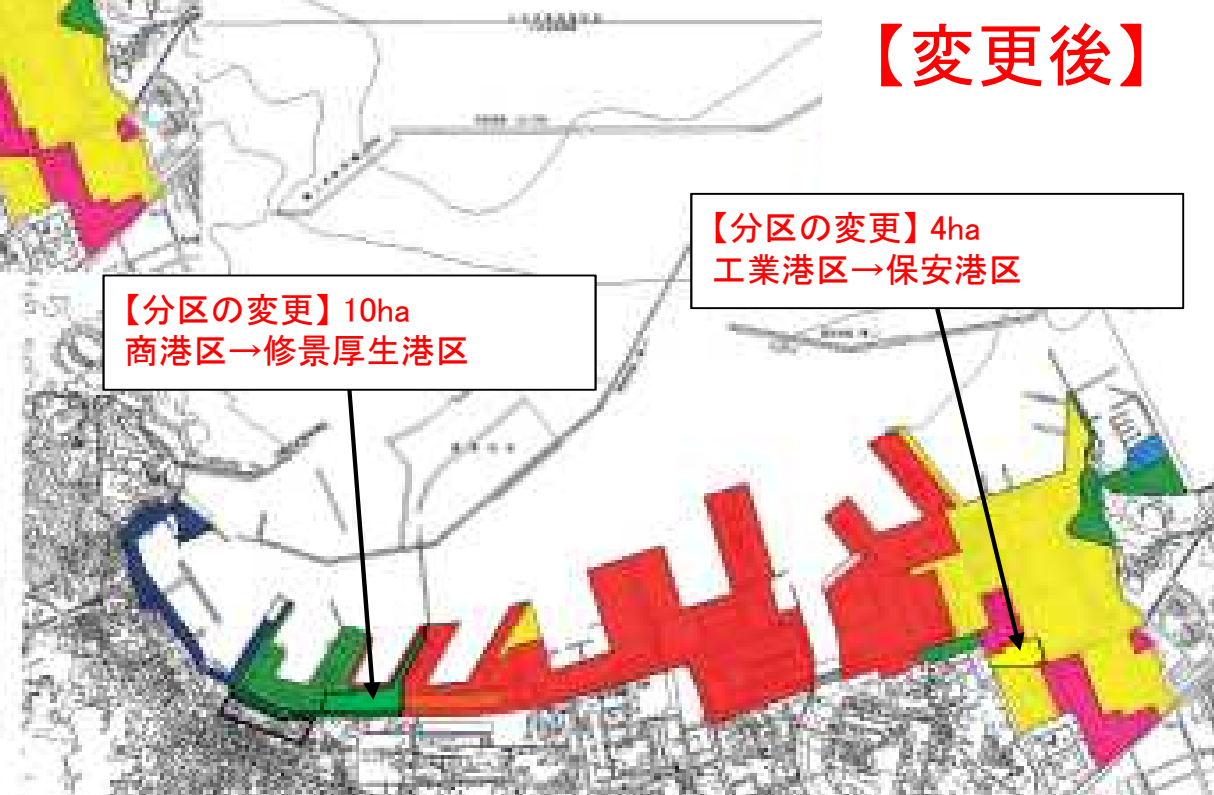
臨港地区分区変更図

【変更前】



凡	例
	漁港区
	商港区
	保安港区
	工業港区
	特殊物資港区
	マリーナ港区
	修景厚生港区

【変更後】



【分区の変更】4ha
工業港区→保安港区

【分区の変更】10ha
商港区→修景厚生港区

分区	面積 (ha)		
	変更前	変更後	増減
漁港区	17	17	0
商港区	184	174	▲ 10
保安港区	109	113	4
工業港区	27	23	▲ 4
特殊物資港区	4	4	0
マリーナ港区	3	3	0
修景厚生港区	31	41	10
無分区	5	5	0
計	380	380	0

臨港地区分区図(変更後)

